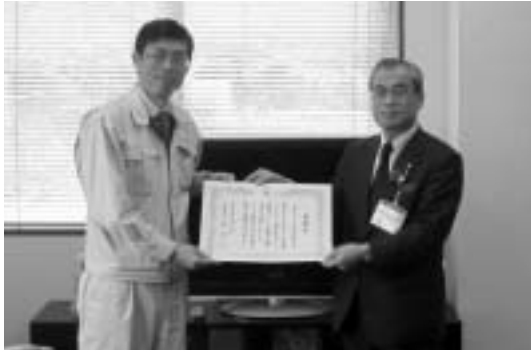


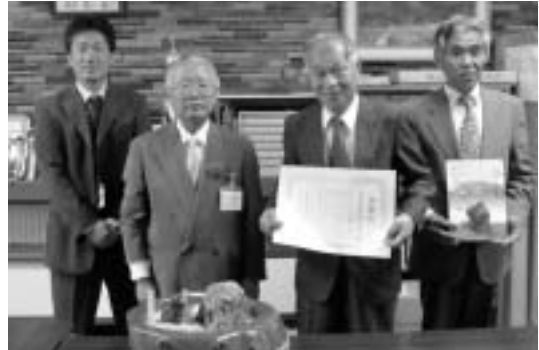
市政へのご協力に感謝して

～感謝状を贈呈しました～



三友エレクトリック株式会社 様

32年の長きにわたって、グラウンド用地を提供いただき、市民の健康増進と地域スポーツの振興に貢献いただきました。



板並炭焼き保存会 様

市内の小中学校へ「さざれ石」の貸与、小冊子「姉川さざれ石」を寄贈を通じて、地域の歴史や文化の伝承にご協力いただきました。



山東盆梅愛好会の皆様

長年にわたり、鴨の里盆梅展において丹精込めた作品を出品され、可憐な花や香りでおもてなしいただきました。



米原観光ボランティアガイド協会 様

観光案内だけでなく独自の企画を実施されるなど、おもてなしの心で米原市の観光を盛り上げていただきました。

6月に入り梅雨の季節を迎えました。昨年は東日本大震災をはじめ、全国的に台風などの自然災害に見舞われましたが、本市でも昨年7月の台風6号では天野川の増水により避難勧告を発令する事態となりました。

こうしたことから、市では地域防災計画の見直しを進めています。この震災や台風などを教訓として、実効性のある計画となるよう市民の皆さんの声を取り入れていくとともに、なかでも災害時に重要となる避難所や地域の状況については、区長の皆さんを通してご意見をお聞きしているところです。

また、今月30日には復興を支援してきた福島県相馬市の立谷市長をお招きし、防災講演会を開催するところです。相馬市の震災直後の対応やその後の復興へ向けた取り組みのほか、本市と敦賀原発との距離と同様に事故を起こした福島第一原発から50km圏内に位置している相馬市の対応状況についても、新たに策定を予定している原子力災害対策編に反映して、あらゆる災害に備えていくこととしています。

いざという時には、避難誘導や避難所運営などの地域の助け合いや連携といった地域の絆の力が大変重要なものとなりますので、市民と行政が情報を共有するとともに役割を分担し、万全の備えと心構えによって安全安心な災害に強いまちづくりを努めていきたいと考えています。

米原市長 泉峰一

(6月1日記)

